

▽お小姓塚

帝キネ青屋時代映話

原作者 隅谷 總一氏
脚色者 小國 比沙志氏
監督者 森本 登良夫氏
撮影者 立花 幹也氏

主要役割

寺小姓静哉 市川百々之助氏
村の娘お露 霧島 直子嬢
養夫小兵衛 東 良之助氏
中屋左衛門 實川 延笑氏
息子甚七 嵐 彌見氏
小作人熊吉 片桐 恒男氏

解説——「若様」について森本登良夫氏が監督製作した時代劇である。
略筋——俗塵を離れた平和な山に抱まれた静かな村、そこにも青春の喜びを讀める若者があつた。寺小姓静哉と村娘お露は張りなき戀の愉悅に浸つてゐたがお露の養父小兵衛は金に目が眩んでお露を庄屋の伴喜七に嫁がせんとした。か

真寫 「お小姓塚」 帝キネ 森本登良夫氏作品
右より市川百々之助氏と霧島直子嬢



くて暴虐な小兵衛と庄屋親子の偽り静哉は養巻きにされて村の大蛇ヶ池に投ぜられお露は小兵衛の奸計で静哉に捨てられたものと思ひ庄屋へ嫁いだ。かうして一年は過ぎ或日のこと不思議にも甚左衛門と小兵衛は目を次いで大蛇ヶ池へ養巻きとなつて浮び間もなくお露も蛇の糟の招くがまゝに池に落ち甚七も又苦しみつゝ池の泡と消えた。この恐しい蛇糟の執心に村人は池の邊りに塚を建て「お小姓塚」と呼んで静哉の妄念を慰めたのであつた。